

2024 年 8 月 7 日

関係各位

株式会社パテント・リザルト

【遊技機】 他社牽制力ランキング 2023
トップ 3 は SANKYO、京楽産業、サミー

弊社はこのほど「遊技機業界」の特許を対象に、2023 年の特許審査過程において他社特許への拒絶理由として引用された特許件数を企業別に集計した「遊技機業界 他社牽制力ランキング 2023」をまとめました。

この集計により、直近の技術開発において競合他社が権利化する上で、阻害要因となる先行技術を多数保有している先進的な企業が明らかになります。

集計の結果、2023 年に最も引用された企業は、1 位 **SANKYO**、2 位 **京楽産業**、3 位 **サミー**となりました。

【遊技機業界 他社牽制力ランキング 2023 上位 10 社】

順位	企業名	引用された特許数
1位	SANKYO	2,123
2位	京楽産業	1,175
3位	サミー	896
4位	ソフィア	727
5位	平和	601
6位	ユニバーサルエンターテインメント	557
7位	大都技研	552
8位	藤商事	546
9位	ニューギン	535
10位	三洋物産	509

【ランキングの集計対象について】

日本特許庁に特許出願され、2023 年 12 月までに公開された全特許のうち、2023 年 1 月～12 月末の期間に拒絶理由（拒絶理由通知または拒絶査定）として引用された特許を対象に、抽出・集計をしています。
また本ランキングでは、権利移転を反映した集計を行っています。2024 年 5 月時点で権利を保有している企業の名義でランキングしているため、出願時と企業名が異なる可能性があります。
なお各企業の業種につきましては、総務省の日本標準産業分類等を参考に分類しています。

1 位 **SANKYO**の最も引用された特許は「確率設定に応じて演出が変わる遊技機」において、電源バックアップ記憶の初期化後も確率設定を維持できるパチンコ遊技機に関する技術で、三洋物産などの計 33 件の審査過程で引用されています。このほかには「出球数の減少を抑えつつ、特定遊技状態までの時間を短縮できる遊技機」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、大一商会や平和など計 30 件の拒絶理由として引用されています。

2023 年に、SANKYOの特許によって影響を受けた件数が最も多い企業は三洋物産（857 件）、次いでサンセイアールアンドディ（556 件）となっています。

2 位 **京楽産業**の最も引用された特許は「入賞を容易にすることで遊技の興趣を向上する遊技機」に関する技術で、ユニバーサルエンターテインメントやSANKYOなどの計 159 件の審査過程で引用されています。このほか「遊技者が獲得した遊技媒体に関連する演出ができる遊技機」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、サンセイアールアンドディなど計 47 件の拒絶理由として引用されています。

2023 年に、京楽産業の特許によって影響を受けた件数が最も多い企業は三洋物産（473 件）、次いでサンセイアールアンドディ（443 件）です。

3 位 **サミー**の最も引用された特許は「遊技状態に応じて適切に報知処理を実行する遊技機」に関する技術で、SANKYOやユニバーサルエンターテインメントなど計 23 件の審査過程において拒絶理由として引用されています。

2023 年に、サミーの特許により影響を受けた件数が最も多い企業は三洋物産（360 件）、次いでSANKYO（245 件）となっています。

4 位 **ソフィア**は「変化に富んだ遊技性の高い遊技機」、5 位 **平和**は「大当りを経由せずに時間短縮状態に移行できる遊技機」が、最も引用された特許として挙げられます。

* * *

また弊社では、ランキングデータを下記の通り販売しています。

【遊技機業界 他社牽制力ランキング 2023 データ】

▶納品形態：以下のデータを収録したエクセルファイルをメールで御納品※

（※データ一式を収録した CD-R での御納品をご希望の場合はご相談ください）

・ランキング トップ 30 社：本業界の被引用件数上位 30 社のランキング

・被引用件数 トップ 100 件：本業界の被引用件数上位 100 特許、及び引用先の特許との対応

▶価格：50,000 円（税抜）

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パテント・リザルト 事業本部 営業グループ

URL：<https://www.patentresult.co.jp/>

e-mail：info@patentresult.co.jp